

開催日時：令和5年2月24日（金） 9時30分から9時50分まで

開催場所：A301-302会議室

出席者：高田副市長、熊谷教育長、原田総務部長、塚平企画部長、細田リニア推進部長、高山健康福祉部長、今産業経済部参事、米山建設部長、田中危機管理部長、土屋上下水道局長、齊藤市立病院事務局長、北原会計管理者、松下教育委員会参与、有賀消防長、松尾地域自治振興課副参事、清水産業振興課長、佐々木財政課長、小室秘書課長、小椋南信州広域連合事務局次長、林企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

（副市長）

- ・監査委員の指摘と同様に、他人事ではなく自分事として捉え、見直しを徹底すること。

2 報告事項

(1) 職員の住居侵入事案について（総務部、市立病院事務局）

◇趣旨

職員の住居侵入事案の報告及び服務規律の確保について確認する。

◇意見

（総務部長）

- ・通知の中には、市職員としての公務員倫理をわきまえた行動に努めることの記載があるが、公務員であるから特別に気を付けるということではなく、全てのことについて社会の規範に即した行動を心掛け、社会一般の倫理から逸脱しない行動を徹底していただきたい。
- ・職員の感覚が鈍っていると感じており、ここで職員一人ひとりが気を付けなければ、同じことの繰り返しになる。部局等の長の皆さんを通じて、職員の意識改革を強力に促していただきたい。

（議会事務局長）

- ・市民の皆さんからすれば、不祥事が連続している印象だと思われる。不祥事が繰り返し発生しているのは、個人の問題ではなく組織の問題である。市民の皆さんに、市役所の改善に向けた行動を、どう契約していくべきか。職員の不祥事に対する行動、指針、又は倫理条例が必要なのではないか。個人の意識による自律的な組織でありたいが、不祥事が続いていることを考えると、掛け声だけでなく行動で示していかないと、市民の皆さんに納得していただけないのではないか。

（企画部長）

- ・深く検討すべきことだと思う。
- ・第1回定例会における議会対応はいつにも増して厳しくなることを認識いただき、聞き取り等を丁寧に対応すること。また、通告に関する聞き取りは、議員の皆さんの好意であることを改めて認識していただき、失礼がないよう行うこと。
- ・昨日、記者会見を行った。記事で掲載されている内容が現時点で判明している全てであるため、職員から不確かなことや噂が流れることのないように留意していただきたい。

（教育長）

- ・過去の事例において、教職員の場合は第三者委員会が立ち上がり、改革のための人事異動や研修が課せられた。今回の事例においても、真摯に受け止め、二度とないよう肝に銘じていきたい。

（健康福祉部長）

- ・飲酒について、市立病院事務局としては自粛するとのことだが、市職員全体での自粛となるか。

（総務部長）

- ・飲酒の自粛について、全庁的な考え方はしていない。コロナ禍における経済的な影響にも配慮していく必要があることから、現時点においては自粛を求めない。

（教育委員会参与）

- ・今回の事案については、飲酒が主な要因である。自粛までではなくとも、節度ある飲酒を求めることはするべきではないか。

(企画部長)

- ・時節柄、飲酒の機会が増える時期であることも踏まえ、極めて節度のある飲酒を心掛けるよう求めることは必要か。

(教育委員会参与)

- ・市民感情からすれば、当然自粛して然るべきという声もある。なぜ自粛とはしないながらも、節度のある飲酒としているのかを、職員それぞれが理解しておく必要がある。

(総務部長)

- ・通知にそこまで記載しないにしても、各部課長会議の中で本通知の主旨をかみ砕いて伝えていただき、各部局において全職員に徹底していただくようお願いしたい。

(人事課長)

- ・本通知を出す際には、自粛はしないが節度ある行動を徹底する旨の周知を前段に加えて発信することとする。

(企画部長)

- ・総務文書課で行っている飲酒運転の注意喚起メールに合わせて、節度ある行動についても職員メールで定期的を送信すること。
- ・各部局において早急に部課長会議を開催し、全庁的に周知徹底すること。

3 その他、連絡事項

4 閉会